



神

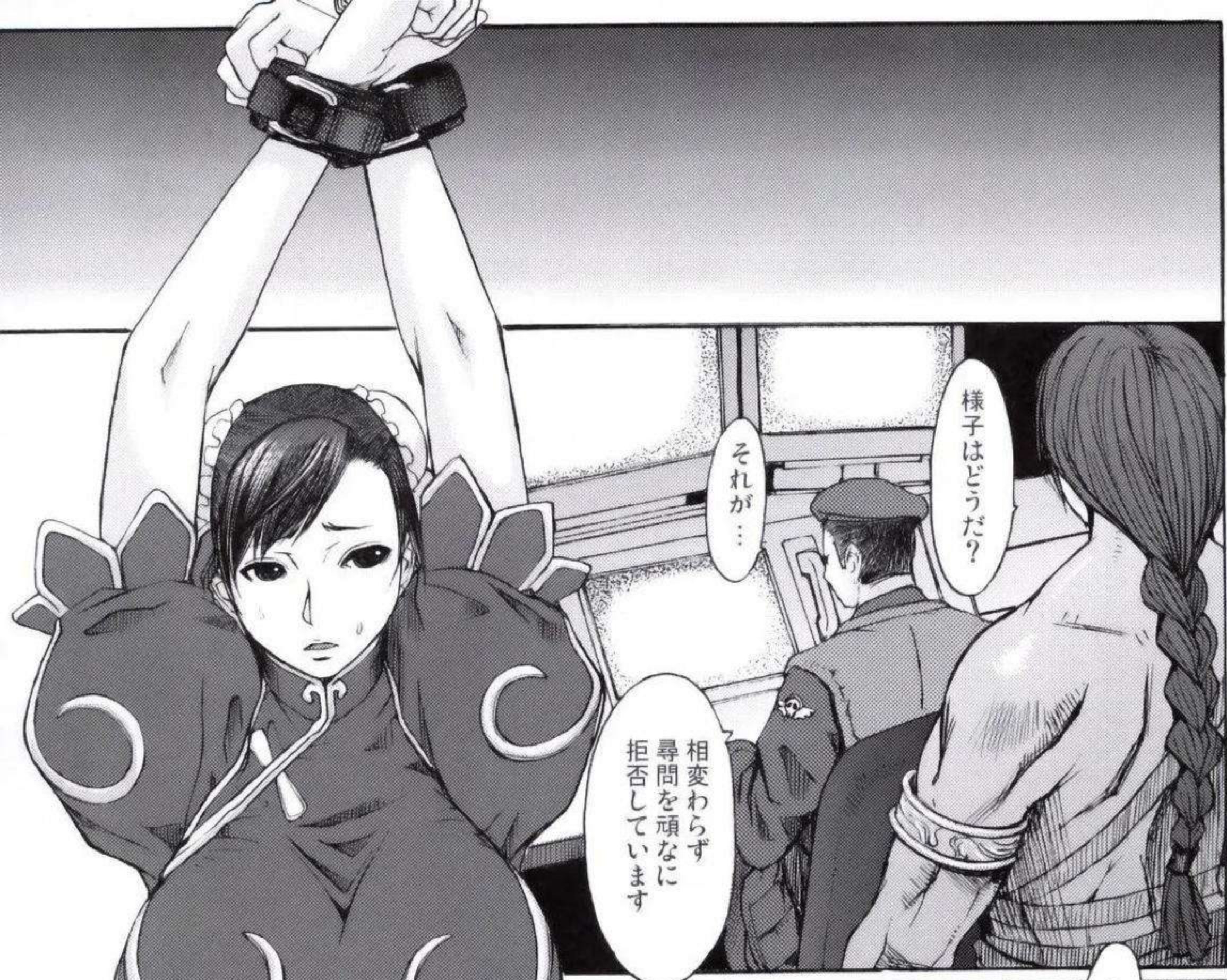
脚

靴

乳

成年間  
For Adult Only  
未成年の購入および閲覧を  
禁じます





それが…

様子はどうかだ？

相変わらず  
尋問を頑なに  
拒否しています



ククク…

無駄なことを…



ご機嫌麗しゅう...

シヤドルーの誇る精鋭達による尋問のご感想はいかがかな？

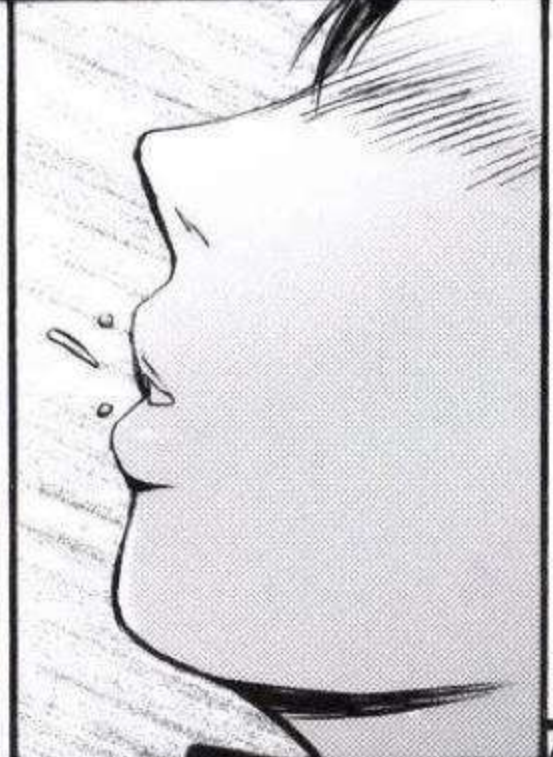
かれこれ3日も監禁されているというのに屈服しない事には素直に敬服するが...

私との決闘において屈辱的な敗北を喫したその事実を認めたらどうだ？



それとも…  
ここの居心地が  
気に入ったのか？

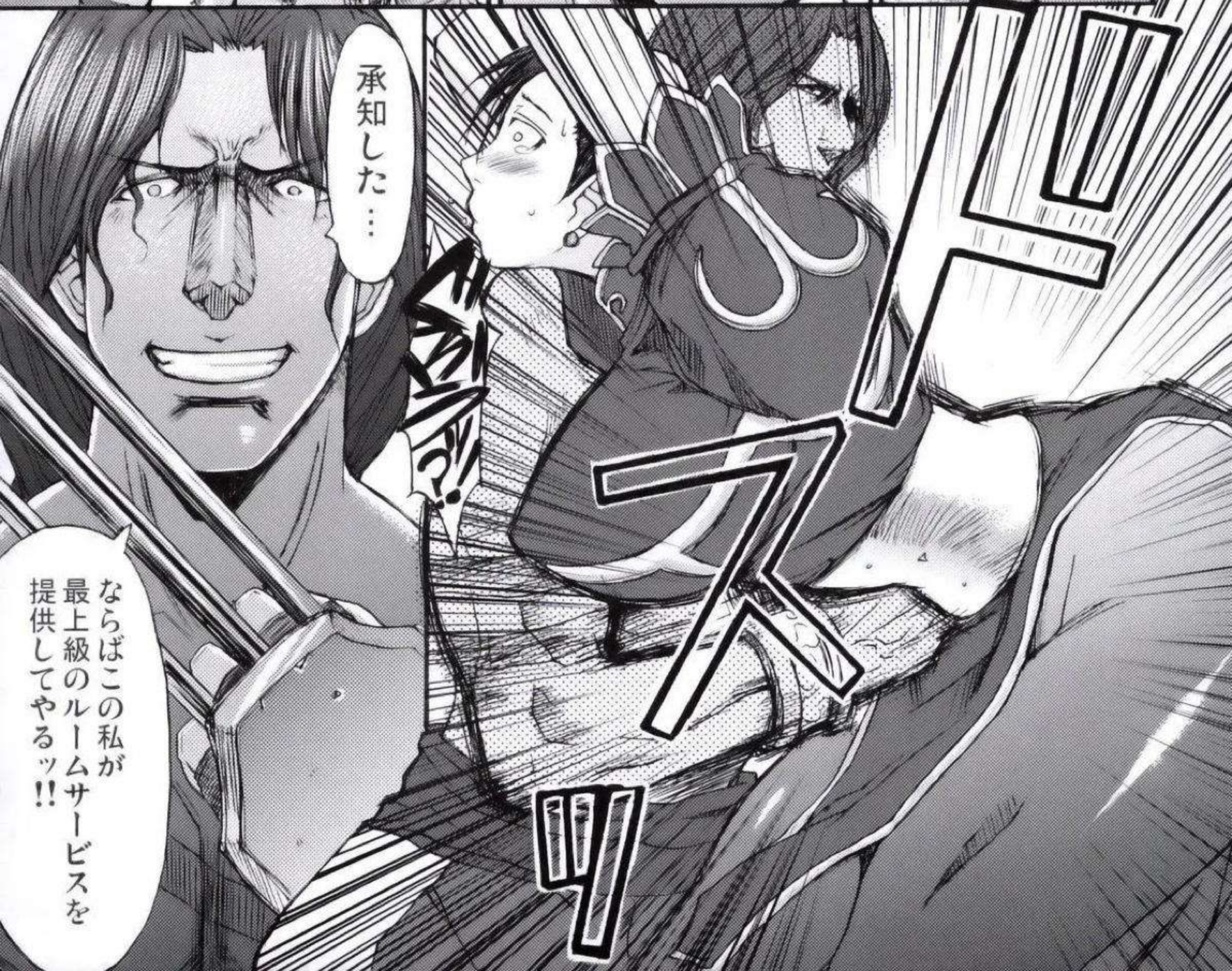
返答如何によつては  
貴様の要求に応じても  
構わんぞ？



むっ…



承知した…



ならばこの私が  
最上級のルームサービスを  
提供してやるツ!!



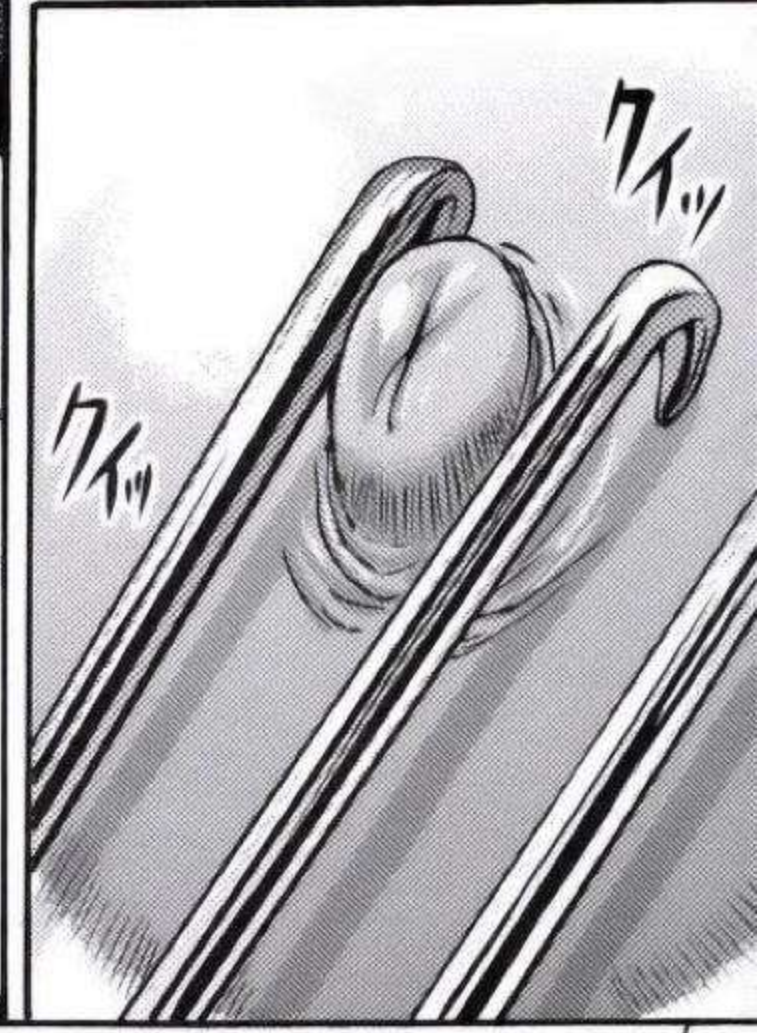


気品のあるレディならば  
最低限の作法くらいは  
心得ている筈だろう？

ひあっ…

それとも  
育ちの悪さを隠し切れずに  
ついつい粗相を  
してしまったとでも？





おおっと…  
自慢の乳肉に醜い傷が  
つくところだったな

この弾力…  
手に余る大きさ…  
素晴らしい…





嫌…ッ

あつ  
はあつ

うっ…

よく熟れてたわわに実る  
食べ頃の果実とでも言うべきか

ん…

はっ…

ああ…

はあ…

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ



やっ…

やめてっ…

はあっ…

たぶんっ

あんっ…

だめっ

たぶんっ

たぶん

どうした？  
だんだん吐息の色が  
変わった？  
よわだが？

気丈に振舞って  
必死に堪えても  
体は正直だな

えっ…

きゅん

痛いッ…

あ…

ひっ…

きゅん

きゅん

きゅん





本当は  
長時間の監禁で  
体の方もそろそろ限界に  
来ているのだろうか？

え…？

漏れる吐息も  
触れる肌も知らずのうちに  
熱いものが漏れてきて  
いるじゃないか

嫌ッ…

ここの温度は  
どうかな…？







いやあッ! はっ...

ほほう:  
随分蒸れているな



おや...?  
この液体は汗ではないな...

違っ...

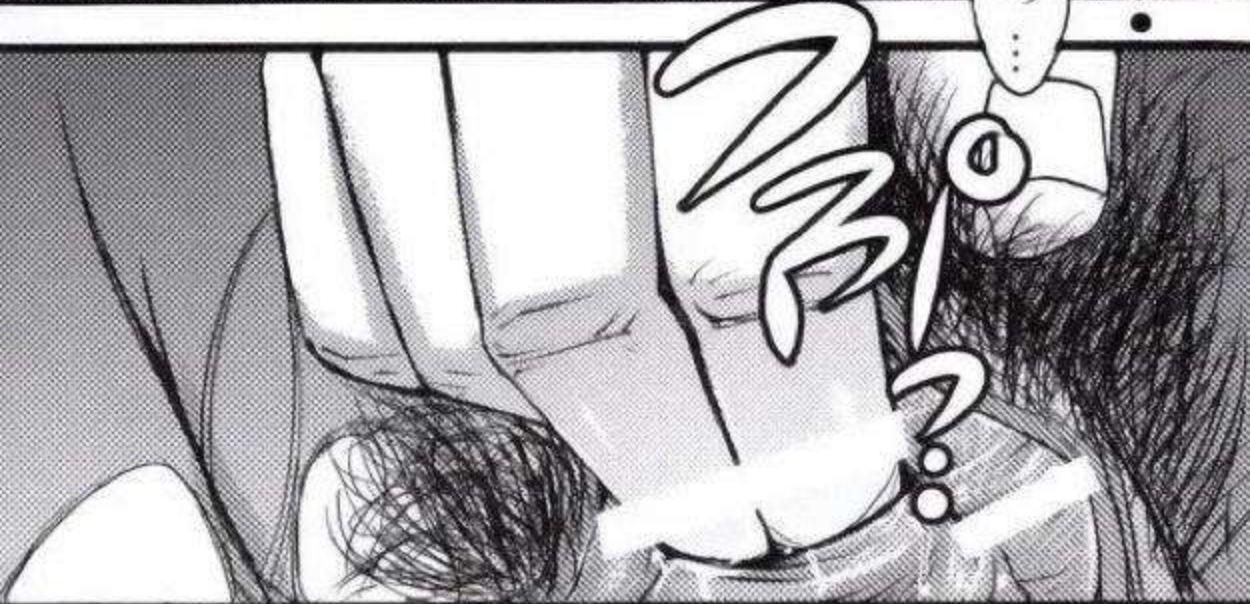
監禁部屋といえど  
この部屋は適切な温度管理が  
されているはずだが  
少々暑かったかな?

私に胸を揉まれて  
不覚にも感じてしまったと  
いうことか?

クチャッ...

ふっ...







ひいあああっ!!

あ  
あ  
あ

みつ...  
見ないでええええっ!!!

ククク...

弱っているとはいえ  
こんな状況下で  
感じるとはなかなか  
見込みがあるな

はあ...っ

は...っ

はあっ...

では少し  
趣向を変えて  
面白いものを  
見せてやろう





さあ  
ショータイムだ

はあっ♡

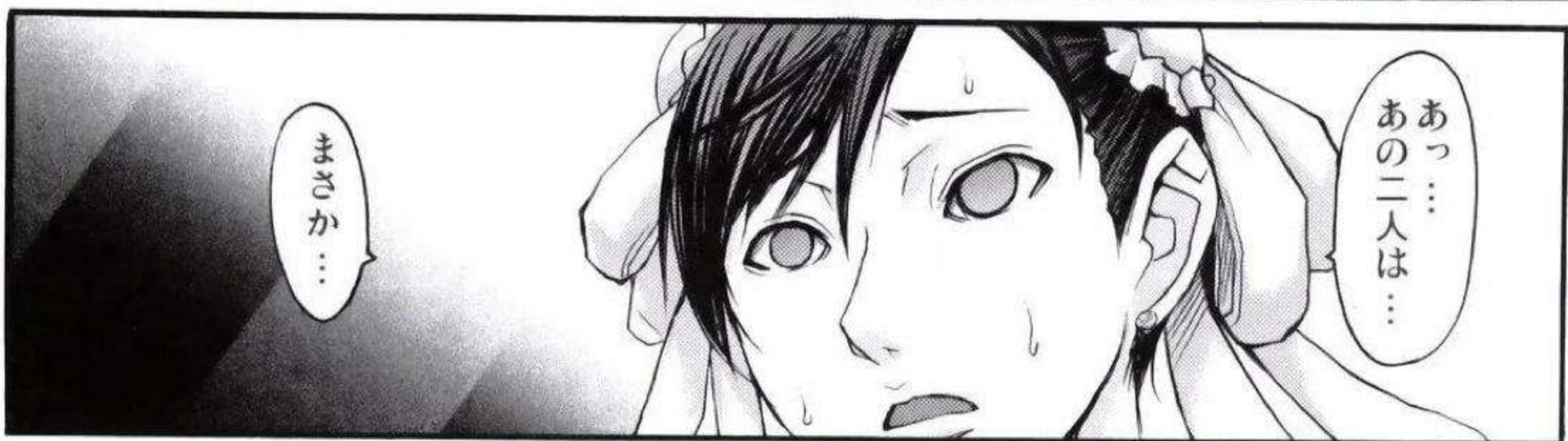
あんっ♡

ああっ♡

もっ♡

あれか...

あっ...  
あの二人は...







あにゃあつ...  
ちんぽから熱い  
トロトロザーメン  
ドレユってしたいっ♡

あにゃあつ♡  
あにゃあつ♡

あにゃあつ♡  
あにゃあつ♡

あにゃあつ♡  
あにゃあつ♡

ぐちゅぐちゅオナホが  
ちんぽにべっこり  
絡みついて  
きもちいい♡

あにゃあつ♡

あにゃあつ♡

あにゃあつ♡  
あにゃあつ♡

あにゃあつ♡  
あにゃあつ♡

あにゃあつ♡





はああっ…♡  
キャミイのおちんぽ  
もつと私のおちんぽに  
ガツガツ当ててえっ♡

うんっ…  
さくらのおちんぽの  
ずる剥けカキに  
もつとおちんぽ  
擦りつけたいのっ♡

はおああああっ♡  
ちんぽ汁でるごっ♡

はひああああっ♡  
ちんぽにゆるオナホで







こっ…

これは一体  
どういう事  
…？

ククク…  
さすがにこの光景には  
驚きを隠せないようだな

—教えてやろう

この二人はいわば  
私の玩具だよ



正確に言えば  
2人は我々の下部組織の  
人身売買シンジケート用  
実験材料なのだが—

極点研究所で  
持て余し気味だった所を  
私が調教するために  
引き取ったのだ



日本人の女の方は  
誰かを探していたようだったが  
拉致して洗脳と  
人体改造を施し—

そっちのイギリス人は  
組織の戦闘員だったが  
洗脳が解けそうだったので  
さらに強い洗脳と  
人体改造を施した

どちらも可愛い  
私のお人形だよ



そんな…



しかし今日は特別に  
貴様が2人の相手を  
してやってくれないか

えっ…？

あっ…  
貴方達…

何を…？

はあああああ…  
今度はおねえさんが  
あそんでくれるんだあ♡

ひいっ…？

ふすー♡

ちゅぽっ♡

おちゅぽっ♡

んむっ♡

はあっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

ふあっ♡





待って...

私は...

お姉さんも  
私達と気持ちいいこと  
しようよ♡



お姉さんの脚  
ムチムチしてて  
いやらしいね...

私達のおちんちん  
すっごく気持ちいいよ♡

あそこにおちんちんぽ入れたら  
すっごく気持ちよさそう...









私はお姉さんの膝裏まんこでちんぽしよっかな♡

あはあつ♡私もお姉さんの足で遊びたいっ…

すけすけ  
すけすけ  
すけすけ



ちよっ…  
ちよっと…

むちっ♡

ふくらはぎと内腿のお肉がプニプニしてて気持ちよさそう…

うっ…  
嘘でしょ？

そんなとこ気持ち悪いっ…





はああっ♡  
お姉さんの  
膝裏まんこっ♡

もっとギュって  
私のおちんぽ  
締めつけてえっ♡



ひいっ…  
私の脚があっ…



おふおおおっ♡  
ほふおおおおっ♡

はへあああっ♡





やっ...  
やめてええっ!



脚だろろうが胸だろろうが  
体中好きなところ  
遊んで構わないからな



2人ともなかなか  
気に入ってくれて  
私は嬉しいよ



ああっ...  
ちんぽ汁出そうっ...  
...



はにゅあああああつ♡  
膝裏まんこにちんぽ汁  
中出しイくうううっ♡

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

♡

熱いッ…

やああ…

ああんっ…♡  
もっとお姉さんの体中に  
ちんぽ汁出したいッ♡

私も…っ

ああん♡

ちんぽ♡

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ



はあはあっ…  
ちんぽ汁出したっ♡  
ちんぽせっくすしたっ♡

今日はいつもよりも  
元気がいいじゃないか

—いいだろう

お前達の好きなように  
その女を犯しまくって  
やるがいい



はっ…?

いやっ…

へへっ…  
じゃあ今度は私が  
お姉さんのホンモノまんこに  
ちんぽ入れるね♡







あ…っ  
そこはあっ…

はああああっ♡

だめっ…

あああああっ!!  
太いいいいっ!!



おぶっ!!

んっ…  
んぐっ!!

じゃあ今度は♡  
お姉さんのお口で  
ちんぼじゅぼじゅぼ  
してもらおう♡



は…っ?!

んぶおっ

んんっ

ふうっ

んんっ





お姉さんのオマンコ  
膣中が熱いよおっ♡

はんっ♡  
おまんこきもちいいっ

あま

はあ

ん

はひあっ♡

はおあっ♡

こっ…  
腰止まらない  
よおおっ♡

はんっ♡

私もおっ♡

喉の奥まで  
ちんぽぶち込むの  
きもちいいっ♡





凜とした高潔な女が  
2匹の雌豚に  
力なく陵辱されている…

ククク…  
素晴らしい眺めだ…

ぐんぐん

うおあっ

ズン

ズン

うわ

うわ

はあ

はあ

ズン

ズン

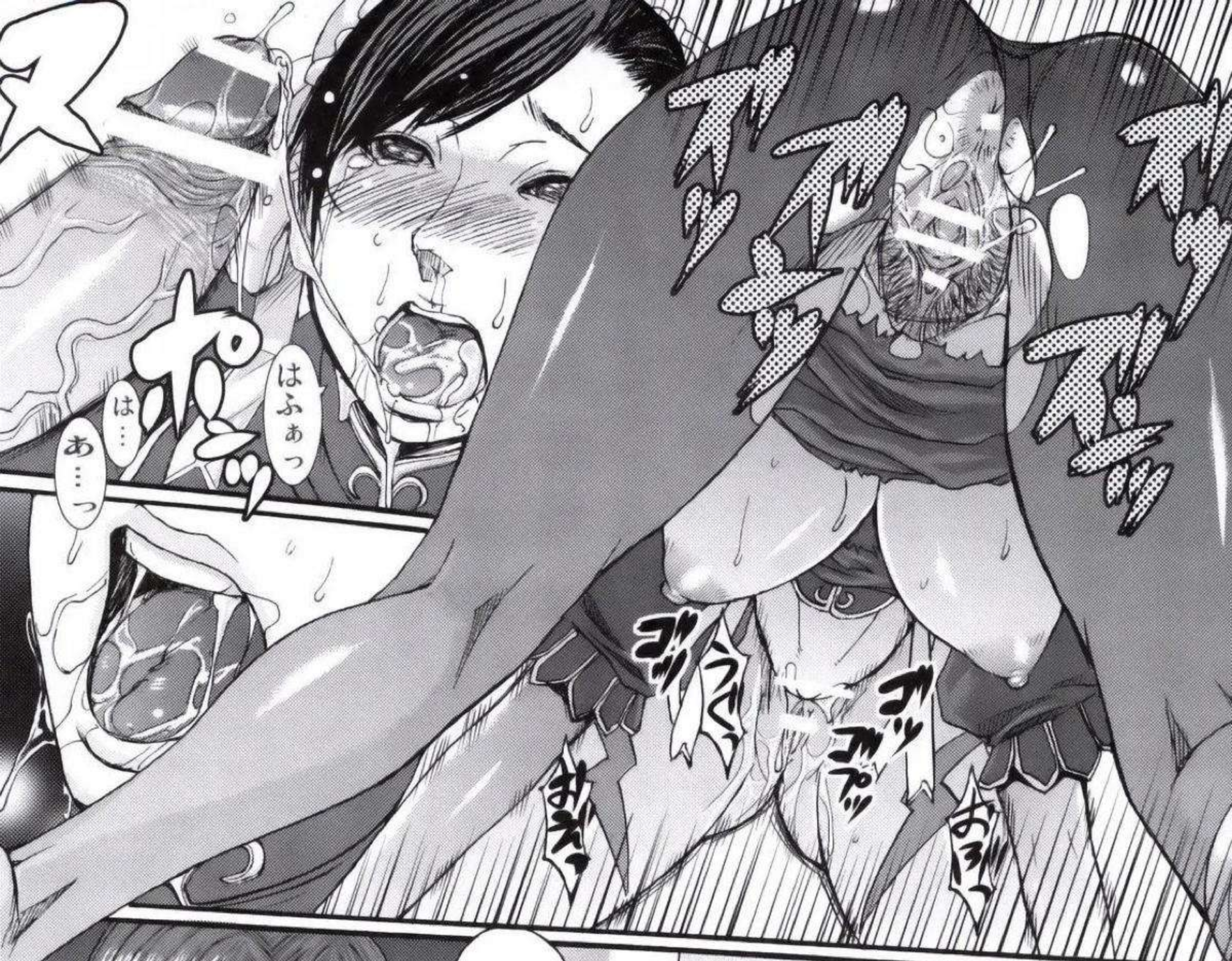
うわ

うわ

うわ

うわ





さて...  
お楽しみのところ  
申し訳ないが...

そろそろ  
ルームサービスの報酬を  
払ってもらおうか





さあ  
大人しく吐け！

今回の作戦の  
機密情報を！

ふん…  
お生憎様ね…

なるほど…

この程度の  
ルームサービスで  
私が満足するとも  
思う？

ならば  
追加オプションで  
楽しんでもらおうか

なっ…  
何を…？

おにぎり

これだけのおもてなしでも  
まだ物足りないとは  
欲張りな女だ



えっ…？

すいっ

あ…っ！  
いやあああっ！

まさか…

ちゅっ

ひいつ

あああっ！

いつ

さすがに  
下半身を鍛えている  
だけあって  
いい締め具合だな

ひっ…  
痛いッ…

だがこのままでは  
しっかり力を入れないと  
ケツ穴がどんどん  
広がってしまうぞ？

ぽあ

広げちゃ…  
だめ…えっ…



お前のような女でも  
ケツ穴だけは等しく  
無防備なのが  
哀れだな

嫌ッ…

そっ…  
そんなもの  
入れたら…

おしりっ…  
いあああっ!!!

あぐあっ?!





ひぐうっ  
おしりが  
焼けるっ  
…

うびえっ



あがあつ

えいあつ



おびうっ



おあつ

あえあつ

たろん

たろん

だっ

だっ



ああんっ♡  
口まんこもっつ  
突きまくるっつ♡

いひ…っ  
いぐあ…っ

いいぞ…  
もつと嬌声を  
聞かせてくれ

いやっ…

お尻とアソコガ  
擦り切れる…っ





はははっ...

きつく  
しないでっ...

ちっ...  
乳首ごすつたじ...  
あああ...!!!

聞こえるか?  
お前のケツ穴と  
マンコから漏れ出る  
この下品な音が!!

ククク...





お前の体は既に私とこの2人に弄ばれて悦び始めてしまえ！  
認めてしまえ！

あぁ...  
ひあつ...

れろ

れろ  
れろ

乳首っ...

あいいいっ？

ハハハ

だっ...  
だめえっ...

乳首はあつ...  
敏感なん...  
だからああつ...

これ以上...  
されたら...

もうっ！  
お姉さんの口  
ちやんと啜えてくれなきゃ  
だめだよおっ！

おっ

アハハ  
アハハ  
アハハ

ハハハ





そして屈辱的な  
肉壺の卑猥な音に  
己の愚かさを  
思い知るがいいッ!

もっと泣け!  
もっと嗚咽しろ!



よしよし  
だんたん  
よしよし  
ケツ穴が  
締りに  
ないか  
具合の  
きたじや  
ないか



むっ...

ぶおっ!

ほおおっ



ヒスヒスヒス...

かつ... 体の中があつ...  
焼ける... っっっっッ!!!







極上のルームサービスにもはや言葉も出ないか？





無様だな…

それでもまだ  
私に抗おうと  
いうのかね？

ゴ

—よかろう  
私も貴様のような女を  
雌豚に調教してみたよ  
な



じっくりと  
墮落させてやるから  
覚悟しておくんだな

TO BE CONTINUED...



## あとがき

今回は久々の春麗車です。

長いことうちのサークルの本を読んでいただいている方には既に3度目になるかと思いますが来年はサークル旗揚げ（正確にはオフセット本を書店卸し始めた時期）より数えて

10年の節目ということもありまして久々に描いてみました。

しかし10年という月日が流れたにもかかわらずあんまり進歩してませんね…

細かい部分では変化はあるのですがそれが大きく実を結ぶとか

劇的な飛躍につながるわけでもなく筆の歩みで肅々と月日を刻んできたように思えます。

その事も含めて今年一年は何かと節目を感じる事が多く、いろいろと悩むことも

多々あったわけですが、この本に関してはオーソドックスに、

原点回帰と言いましょうか自分のやってきたことを総括して

次の10年に繋げるための布石としてひとかどならぬ想いで筆を執りました。

今回の作品はいつものように1冊完結という形ではなく、久しぶりに前後編、

或いは3部作として一年かけて描きたいなということでラストは引きの終わり方にしました。

普段だと悪落ちエンドで締めちゃう所をもう少しねちっこく墮ちる過程を

描いてみたくなったというか、最近おさなりになっているとか

自分に足りない要素は何であるかということ考えたあ末の結論として

続き物にすることにしました。

最終的に春麗が墮ちるという結末が待っていたとしても、そこにいたるプロセスの掘り下げを

もう少し引き伸ばしているいろいろやってみようということ考えております。

その辺は今後の続刊を見ていただければということで。

確か1冊目の「chun-mani」において

30歳のヒロインであることに言及した記憶がありますが、

そこからさらに10年…もう春麗も40歳ですよ。

そろそろ年増大年増の好みが分かれてくるラインだったり、若い世代には既に

ババア扱いというポジションにもかかわらずヒロインとしての原体験という意味においては

少なくとも自分は50になろうが60になろうが好きでい続けられる

ある種の変な安心感（安定感？）を感じています。

歳をとったらとったで違う魅力が出てくる、もはや普通の「女の子」にはなれないけれど

愛してるぜいつまでもという気持ちには揺らぎを感じませんね。

むしろ自分の中でのイメージがどんどん洗練されてきてリアリティを増してきているのは

他のキャラではそうそうありえない話だと思います。

しかし！

ストIVにもめでたく登場した彼女には多少不満があります。

特に新コスチューム。あんな破廉恥な服は春麗が着るべきではないです。

冊の露出が驚くほど少ない初代コスやゼロコスのデザインの秀逸さを

改めて思わされたデザインだったのは個人的には残念でした。

それ以前にキャラのモデリングにもいささか不満があるといえはありますが…

太もものモデリングが甘いのと太いけどかっこよくないから生足になったときに

モロに野暮ったくなっちゃうといいますが…

そんなですから自分の中では3rdのドット絵の春麗が一番美しく理想的であると未だに思います。



近況。

あれよあれよとばかりにまた1年経ってしまって  
今年は悩んでたら一年が過ぎちゃったってくらあまりいい話が無かったのですが  
今年は3冊目の単行本出せたことはいつも増してめでたい出来事ではありました。

しかもありがたいことにあんな万人受けしなさそうな本であるにもかかわらず  
それなりに次につなげられそうな結果を出せたという話を編集さんから聞いてとりあえずホッとしています。

既に単行本をお買い上げになりました方においては改めましてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

まだの方もしぜひ読んでいただければこれ幸いです。

あわよくば来年4冊目が出せればいいんですけどね…

いろいろ込み入ったこともありますのでその辺はどうなるか分かりませんが

いい方向向いて追い風になればと思います。

とりあえず今はゲームもしたいですけど絵が描きたいです。

S A Iを最近始めて触ってそのレスポンスのよさに驚いたり  
ピクシフでのうだつの上がらなさに軽く鬱こいみたりとかいろいろとまた

泥臭いことをやらなきゃなあという気に満ちておりますので

来年はそれを大きな一歩にしていけるように楽しみたいと思います。

せめて同業の方に名前くらいは覚えてもらえるようにはなりたいもんですよホントに。

未だに自分の存在の矮小さを思い知らされることはばかりで。

頑張ろう…

それではまたの本にて。

2008年12月某日 黒龍眼

奥付  
2008年12月30日  
発行  
燦乳フルネルソン  
印刷  
ユニフrint様

禁無断転載

Studio Cambria (bakunyu fullnerson homepage)  
<http://studio-cambria.sakura.ne.jp/>

mail to: aap47400@hkg.odn.ne.jp





Bakunyu Fullneron

**!!!CAUTION!!!**

本書の未成年への販売、配布、および無断の販売、配布を禁じます。

DO NOT SELL FOR MINORITY AND DISTRIBUTE,  
AND IT IS PROHIBITION TO REPRINT, TO SELL,  
AND TO DISTRIBUTE IT WITHOUT PERMISSION.

また、上記のことを違反した場合、違反した本人も罰せられることが  
ありますのでご注意ください。

THE ABOVE-MENTIONED IS PUNISHED  
AND THE TRANSGRESSOR HIMSELF MIGHT BE PUNISHED  
WHEN VIOLATING IT.